

CO₂削減マニフェスト(取組内容)

大項目	小項目	具体的取組	2030年度までの数値目標
事業所の 省エネ	エネルギー管理体制	エコステージ2を基本に省エネ・CO ₂ 対策を進め、PDCAサイクルにより着実に推進する。	
		各種設備・機器の性能及び効率の低下を防止するため、定期的に保守及び点検を行う。	
		各種設備・機器の管理基準を作成し、基準に沿って管理する。	
	空調・換気	空調機器の設定温度を管理する。	夏 28℃ 冬 20℃
		フィルターの定期的な清掃、室外機の適切な運転の確保を行う。	
	ボイラー・給湯	ボイラーを適切な空気比、蒸気圧力、温度に設定する。	
		ボイラー温水器を5月～10月まではOFFにする。	
	照明・昇降機	ノー残業デーの実施	5月～12月
		休憩時、不在時は不要な照明をOFFにする。	
	事務用機器・ 業務用機器・ 産業用機器	OA機器は節電モードにして待機電力を削減する。	
産業機器は休憩時には電源をOFFにする。			
再生可能エネルギー・ コージェネレーションシステム・ 建物の断熱等・BEMS	緑のカーテンを実施する。	7月	
	ブラインド使用による日光の入射熱を軽減する。		
自動車	車両ごとの燃費管理を通して、エコドライブを推進する。		
	構内、現場において待機時のアイドリングストップの徹底を図る。		
低炭素な 製品 ・ サービス	購入	CO ₂ 排出量の少ない原材料・部品・サービスを購入する。	
	製造・販売・提供	社員の意識を高め、不良品・廃棄品を削減する。	
作業工程や生産工程の改善により、廃棄物の削減に努める。			
運送・廃棄	配送の際、混載する事で車両台数を削減する。		
	ゴミの分別・リサイクルの徹底を行う。		
	クレーム品・事故品を減らし、二次配送を削減する。		
従業員教育 ・ 社会貢献	従業員への啓発	社内での省エネを周知する。	
		家庭内においても省エネを呼びかける。	
	社会貢献	環境に関する活動を主体となって行う。	
宅配ボックスを製造する事により、ドライバーの再配達を減らし、CO ₂ の削減をする。			
その他	資源の節約	加入している一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)の環境に対する取組を遵守していく。	
		書類のペーパーレス化を実施する。	